



デュアル 15 インチサブウーファー

注釈は最終ページの NOTES をご覧下さい。

CONFIGURATION

サブシステム	トランスデューサー	音響的負荷
Sub	15 インチコーン x 2	パスレフ
動作モード	アンプチャンネル	外付シグナルプロセッサー
シングルアンプ	LF1/LF2	DSP w/1 ウェイフィルター
デュアルアンプ	LF1, LF2	DSP w/1 ウェイフィルター

PERFORMANCE

動作範囲	36 Hz ~ 150 kHz
公称放射幅	水平 360°
	垂直 360°

軸上能率 (SPL)		
LF1/LF2(全方向)	96 dB	36 Hz to 150 Hz
LF1/LF2(半球形)	102 dB	36 Hz to 150 Hz

入力インピーダンス (Ω)	公称	最小
LF1/LF2	4	3.7 @ 150 Hz
LF1, LF2	8 (各)	7.3 @ 150 Hz (各)

推奨ハイパスフィルター

ハイパス⇒ 30 Hz, 12 dB/octave パターワース

アクセラレートライフテスト

システム	LF1/LF2	65 V	1050 W @ 4 Ω
	LF1, LF2	65 V (各)	525 W @ 8 Ω

ユニット	AES	700 W (各)
------	-----	-----------

軸上限界出力算出値 (SPL)	平均	ピーク
LF1/LF2(全方向)	127 dB	133 dB
LF1/LF2(半球形)	133 dB	139 dB

ORDERING DATA

内容	パーツ番号
SB250zP 黒	0008964
SB250zP 白	0011318
SB250zP 黒 (ウェザープルーフ仕様)	0009050

オプション

アイボルト (3/8-16 x 1.25 インチ)	104001
---------------------------	--------

DESCRIPTION

SB シリーズは EAW の高品質なサブウーファーで、ほとんどの現場に対応するよう設計されています。用途に合わせて選べる様々なスペックとサイズを取り揃えました。高品質のユニットは EAW がエンジニアリングを担当し、限られたファクターの中で最高の出力と音質を提供します。SB シリーズの製品はいずれもダイレクトラジエーティングでエンクロージャーは最適にチューニングされたパスレフ型です。SB シリーズは最高の音響特性と最高の信頼性、そして最も丈夫な製品を求められる現場に最適です。

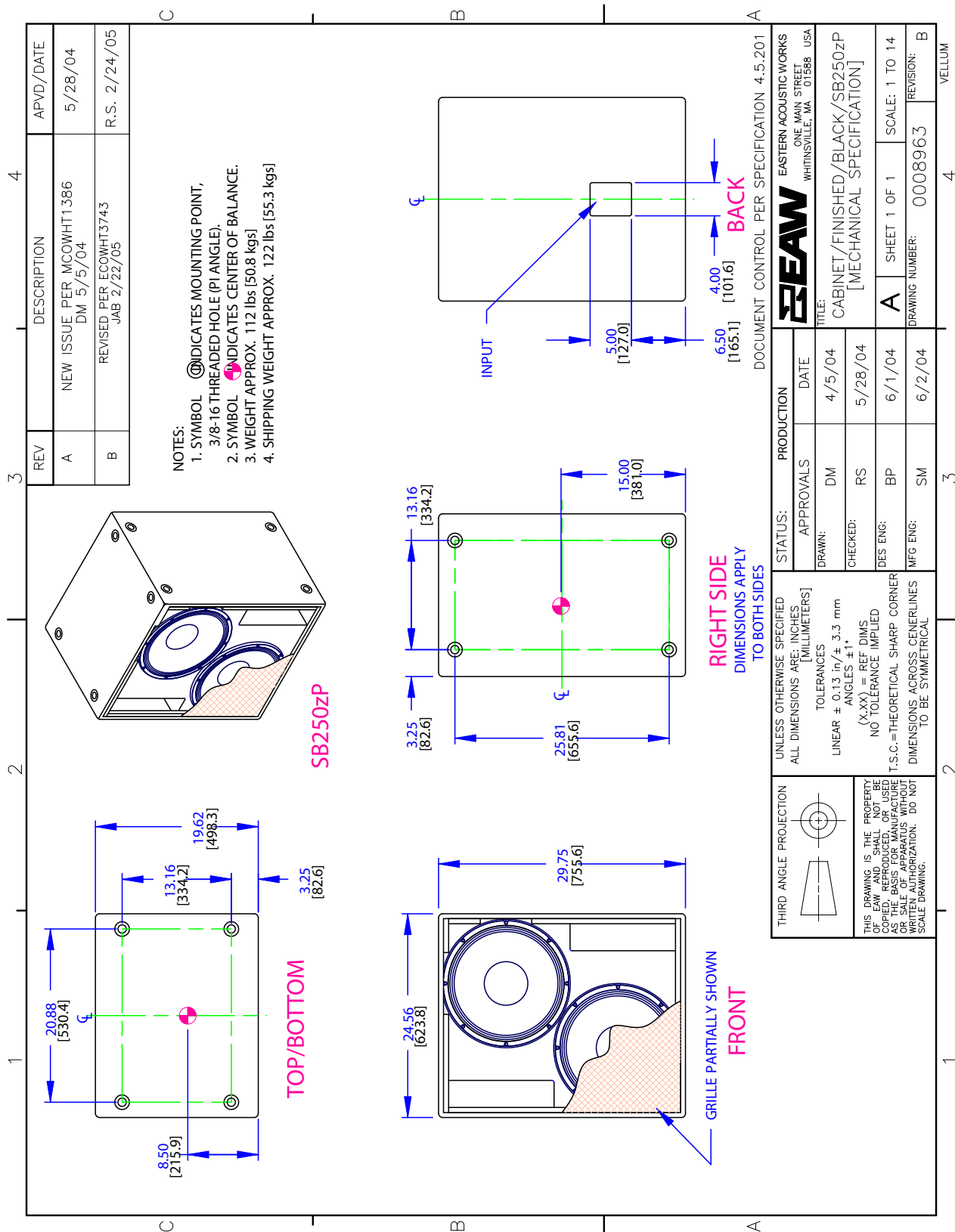
SB250zP は高出力の中型サブウーファーシステムです。多彩で多目的に使えるサブウーファーとして、2つの 15 インチウーファーを搭載しており、ソリッドなサウンドを会場へ届けます。小規模な教会、多目的スペースや劇場、AV システム、ホテルの宴会場、会議室、教育施設、展示会場、また客船内や映画館、クラブなどにも適しています。

SB250zP は今日の洗練されたデジタルシグナルプロセッシングを併用し、低域特性を最適化するように設計されています。クロスオーバーやイコライゼーションには EAW の UX シリーズをお使い下さい。



ENCLOSURE

材質 パルト海沿岸産樺材合板
 仕上げ 耐耗製テクスチャーブラックペイント
 グリル パウダーコーティングパンチングスチール

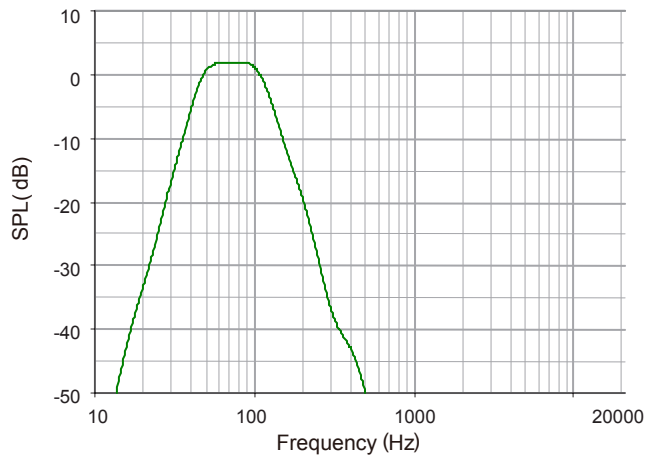


PERFORMING DATA

詳細は最終ページの NOTES GRAPHIC DATA をご覧下さい。

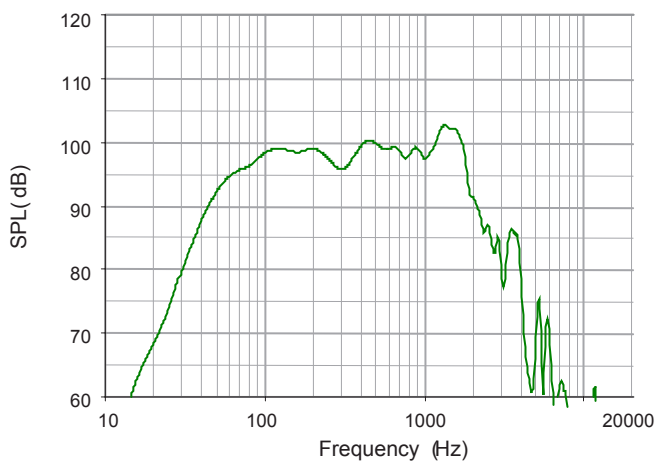
周波数特性:プロセッシング済みの場合

LF全体 = 緑



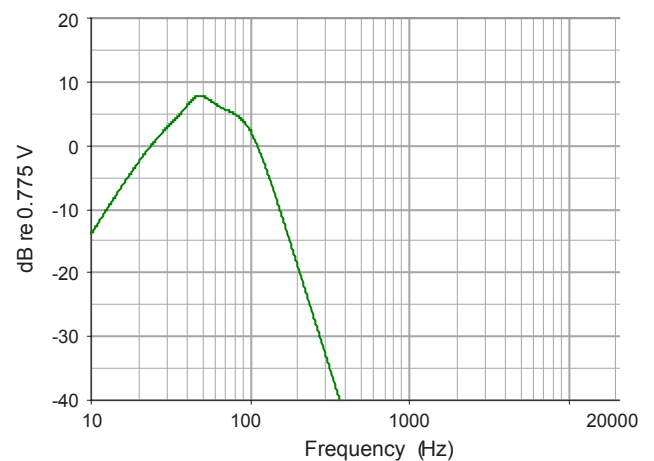
周波数特性:プロセッシングしていない場合

LF全体 = 緑



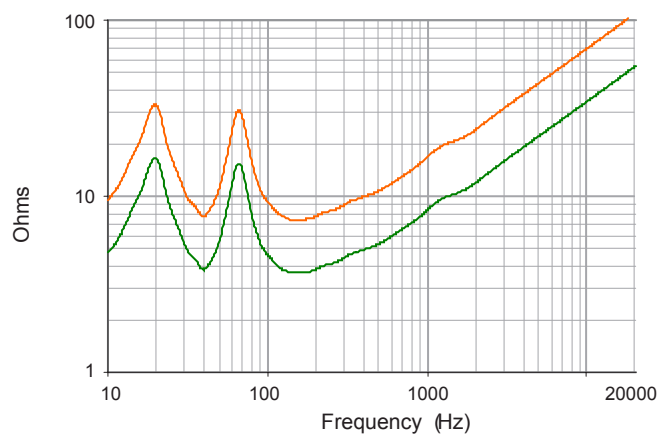
周波数特性:DSP

LF全体 = 緑

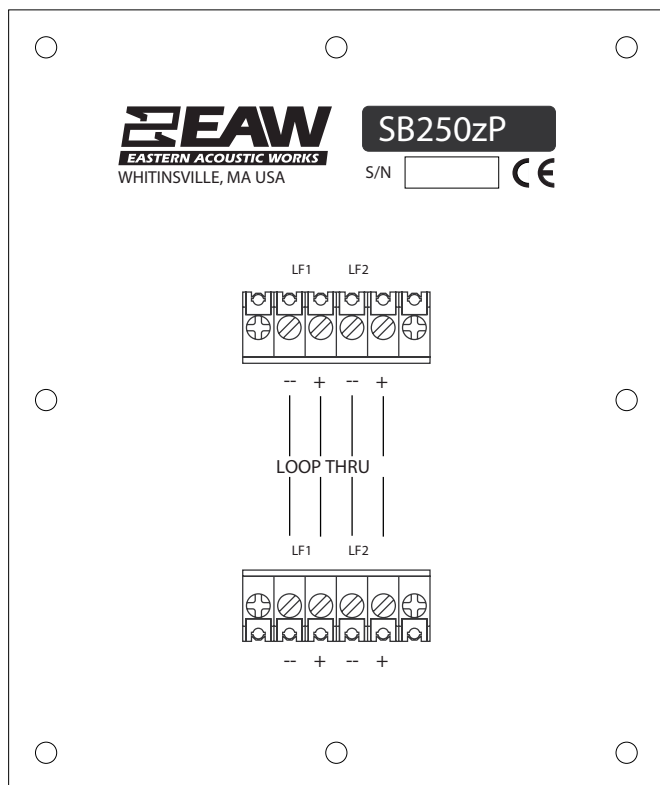


インピーダンス特性

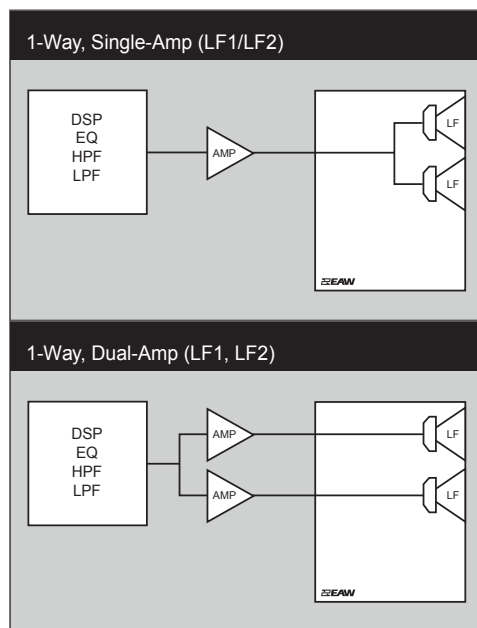
LF1/2 = 緑, LF1, LF2(各) = 橙



INPUT PANEL



SIGNAL DIAGRAM



LEGEND

DSP:
HPF:
LPF:
LF/MF/HF:
AMP:
XVR:

適切なパワーアンプをご用意下さい。
クロスオーバー用、あるいは推奨値に設定して下さい。
クロスオーバー用ローパスフィルターです。
LFは低域、MFは中域、HFは高域を表します。
適切なパワーアンプをご用意下さい。
パッシブのLPF、HPF、EQ

NOTES

表組みデータについて

1. 測定 / データプロセッシングシステム：プライマリ - FChart (EAW 専用ソフトウェア) ; セカンダリ - B&K 2012
2. マイクシステム：Earthworks - M30; B&K 4133
3. 測定：デュアルチャンネル FFT; FFT 長 32,768 サンプル; サンプル周波数 48kHz; 対数サインウェーブスイープ
4. 測定システムの品質 (不明分含む) : SPL: 正確度 ± 0.2 dB @ 1 kHz, 精度 ± 0.5 dB (20 Hz - 20 kHz), 分解能 0.05 dB; 周波数: 正確度 $\pm 1\%$, 精度 ± 0.1 Hz, 分解能 1.5 Hz または 1/48 oct 以上 時間: 正確度 $\pm 10.4 \mu s$, 精度 $\pm 0.5 \mu s$, 分解能 $10.4 \mu s$; 角度: 正確度 $\pm 1^\circ$, 精度 $\pm 0.5^\circ$, 分解能 0.5°
5. 環境：時間窓による測定。測定スペースの影響をプロセッシング時に排除しほぼ無響室をシミュレート。無響あるいは小スペースのデータとしてプロセッシング。
6. 測定距離：7.46 m。音響特性は 20 m でのサブシステムのパワーを位相振幅合成で算出して表示。逆二乗則を適用して他距離のデータを算出。
7. V (ボルト)：テスト信号の rms 値を測定
8. W (ワット)：プロオーディオ業界における「スピーカーの W」は因習的に電圧の 2 乗を定格公称インピーダンスで除算する。このため、国際的な基準で定義されたエネルギーとしての W という真の単位ではない。
9. SPL (音圧レベル)：信号の平均レベル相当。0 dB SPL = $20 \mu Pa$
10. サブシステム：各通過帯域のユニット及びその音響的負荷。Sub= サブウーファー, LF= 低域, MF= 中域, HF= 高域
11. 動作モード：選択可能なコンフィギュレーション。サブシステム同士がコンマ(,)で区切られている場合= アンプチャンネルは別。サブシステム同士がスラッシュ(/)で区切られている場合= 単一アンプチャンネル。DSP= デジタルシグナルプロセッサ。重要：表記された仕様を実現するためには EAW 提供の設定による外付デジタルシグナルプロセッサの併用が必要
12. 動作範囲：プロセッシングされた周波数特性で平均出力音圧レベルから -10 dB SPL 以内の範囲の数値。幾何学的な軸上で測定。狭い帯域でのディップを除く。
13. 公称放射幅：0 dB SPL を最高レベルとした時 -6 dB SPL のポイントで設定
14. 軸上能率：公称インピーダンスで 1 W を出力する入力電圧を供給した時の動作帯域における平均出力音圧レベル。外部プロセッサを使用せず幾何学的な軸上で測定。距離 1 m。
15. 公称インピーダンス：4, 8, 16 Ω の抵抗を選択。最小インピーダンスポイントは動作範囲内でこの値を 20% 以上下回らない。
16. 推奨ハイパスフィルター：動作範囲を下回る過剰な入力信号からスピーカーを保護するために適用するもの。
17. アクセラレートライフテスト：EIA-426B で定義されたスペクトルを供給した際の最大テスト入力電圧。推奨シグナルプロセッシング/プロテクトフィルターを併用して測定。
18. 軸上限界出力算出値：アクセラレートライフテスト中に実現可能な平均音圧レベルの最高値とピーク音圧レベル。ピーク SPL はライフテスト信号が持つ 2:1(6 dB) のクレストファクターを反映。

グラフデータについて

1. 解像度：重要性の低い細部を除去。音響的周波数特性は 1/12oct のケプストラムで平滑化。放射幅とインピーダンスは 1/3oct のケプストラムで平滑化。他は未加工。
2. 周波数特性：周波数ごとの音響出力の変動を表示。入力信号は一定で 0 dB SPL にノーマライズ。公称インピーダンス 4 Ω の場合 2V, 公称インピーダンス 8 Ω の場合 2.83V, 公称インピーダンス 16 Ω の場合 4V。距離 1 m。
3. プロセッサの特性：0.775 V=0dB の一定した入力信号に対する周波数毎の出力レベルの変動を表示
4. インピーダンス：インピーダンスの変動を Ω で表示。対周波数で表示し電圧 / 電流の位相は参照しない。インピーダンス値は真の W (上記参照) の算出には使用しないものと思われる。